

7 保健・福祉施設

(1) 高齢福祉施設

① 対象施設一覧

No.	施設名	地区	運営形態	建築年度	経過年数	耐用年数	延床面積 (㎡)	収入 (千円)	支出 (千円)
1	デイサービスセンター久賀島	福江	指定	S54	40	39	415	0	3,339
2	貝津老人憩の家	三井楽	指定	S55	39	22	65	0	0
3	岐宿デイサービスセンター	岐宿	指定	H5	26	39	433	0	248
4	奈留デイサービスセンター	奈留	指定	H7	24	39	1,060	0	583
5	養護老人ホーム松寿園	福江	指定	H9	22	50	3,151	18,517	94,806
6	グループホームさざなみ	三井楽	指定	H16	15	22	336	0	760
7	デイサービスセンター椏島	福江	指定	H1	30	39	216	0	9,650
合計							5,676	18,517	109,386

※1 運営形態の「指定」は指定管理者を、「直営」は市直営管理を表します。

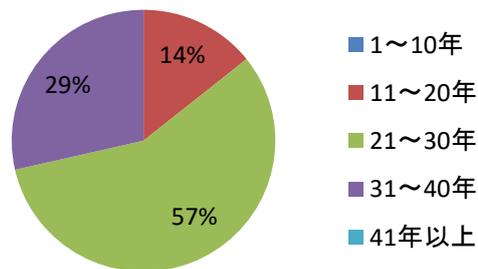
※2 耐用年数については、財務省令「減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和43年3月31日大蔵省令第15号）を参考に記載したもので、使用可能期間を示すものではありません。

※3 収入及び収支は、平成28年度の歳入歳出決算額を記載しています。

② 各種分析結果

ア 築年数別状況

高齢者福祉施設の全7施設を建築年数別にみると、築後21～31年が最も多く57%を占めています。全体的に見ても築年数が20年以上の建物が86%とほとんどを占めており、近い将来、何らかの対策が必要となる施設が多くあります。



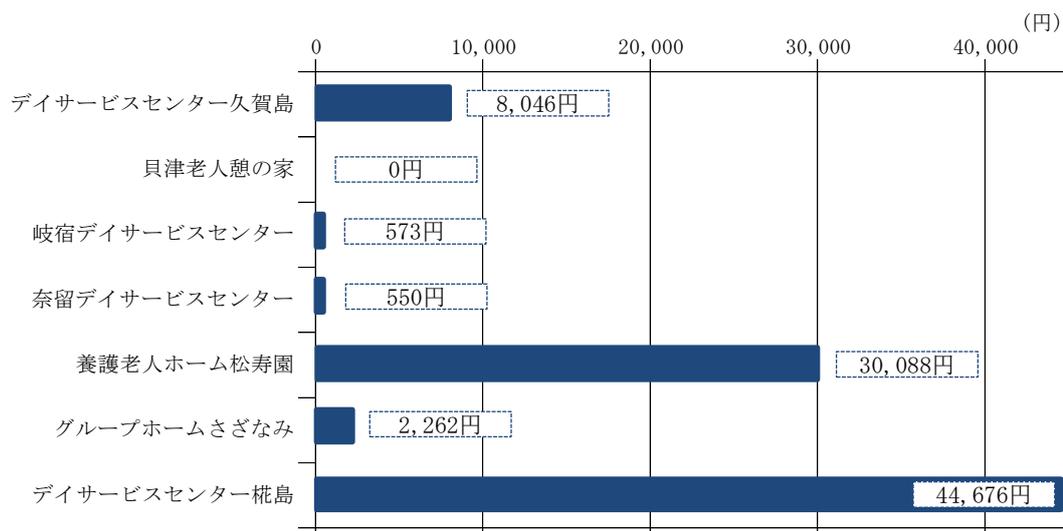
イ 利用状況

高齢者福祉施設の延べ利用者数を示したものです。なお、利用期間は平成28年4月から平成29年3月までの1年間です。

No.	施設名	利用者数 (人)	No.	施設名	利用者数 (人)
1	デイサービスセンター久賀島	324	5	養護老人ホーム松寿園	17,733
2	貝津老人憩の家	156	6	グループホームさざなみ	3,285
3	岐宿デイサービスセンター	4,046	7	デイサービスセンター椏島	844
4	奈留デイサービスセンター	2,965			

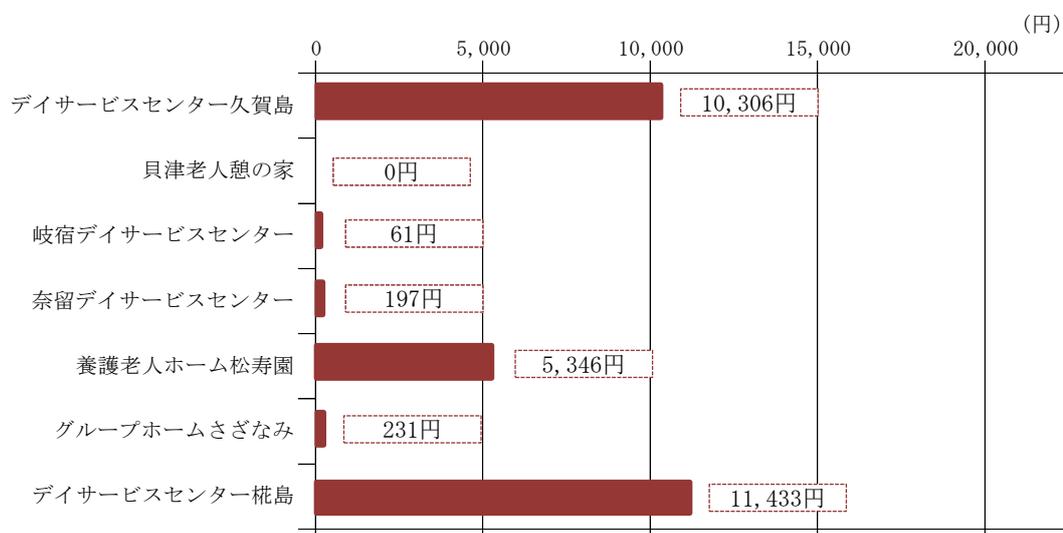
ウ 1㎡当たりの運営コスト状況

管理運営経費と総延床面積から1㎡当たりのコストを比較したものです。



エ 利用者1人当たりの運営コスト状況

管理運営経費と利用者数から1人当たりのコストを比較したものです。



オ 施設の配置状況

対象施設の配置状況を示しています。



No.	施設名	No.	施設名
①	デイサービスセンター久賀島	⑤	養護老人ホーム松寿園
②	貝津老人憩の家	⑥	グループホームさざなみ
③	岐宿デイサービスセンター	⑦	デイサービスセンター柁島
④	奈留デイサービスセンター		

③ 施設について

ア 施設の役割

デイサービスセンターは、在宅の寝たきり老人、介護を要する認知症老人、疾病等により身体が虚弱な老人、障害者等に対し、各種サービスを提供しています。

養護老人ホームは、主に経済的な理由で居宅において養護を受けることが困難な65歳以上の自立者を入所させ、養護する施設です。

グループホームは、認知症高齢者に少人数で共同生活を送る場を提供することにより、認知症の症状の進行を穏やかにし、家庭介護の負担を軽減することを目的として設置された施設です。

イ 現状と課題

デイサービスセンターは、通所介護、配食サービスなどに利用されています。

二次離島にあるデイサービスセンター久賀島とデイサービスセンター椏島については、島内で他に介護サービスを提供できる事業者がないことから今後も施設を設置し、市において介護サービスを提供する必要があります。

養護老人ホーム松寿園は、第3次五島市行政改革に基づき、高齢者福祉のさらなる向上のため、民間の活力と創意工夫を活かした施設運営を図る目的で、民間移譲を行います。

ウ 今後の施設の考え方

二次離島である久賀島と椏島にあるデイサービスセンターは島内唯一の介護サービス提供事業所であることから現在の施設を補修を行いながら維持することとし、将来的には、学校施設等との統合等を検討します。

奈留デイサービスセンターはこれまで指定管理者による運営を行ってきましたが、現在業務を委託している事業者が今後業務を行わない方針であり、その後運営を行う事業者の参入も見込めないことから平成30年度をもって事業を廃止しています。

養護老人ホーム松寿園は、平成30年4月に社会福祉法人さゆり会へ民間移譲を行っています。

グループホームさざなみは、グループホームとしての利用は令和2年3月31日をもって廃止しますが、施設については改修を行い用途を変更して活用する計画としています。

④ 適正配置の検討結果

現状や課題、今後の施設の考え方を踏まえ、すべての施設の適正配置の時期を第1期から第4期までに区分します。

また、第1期の対象施設については「現状維持」「適正化」「複合化」「集約化」「民活化」「廃止」「譲渡」といった方向性を検討し、より具体的な適正配置の実施時期、方法を検討します。

第1期 (H30～R8)	第2期 (R9～R18)	第3期 (R19～R28)	第4期 (R29～R38)
養護老人ホーム松寿園	デイサービスセンター久賀島 貝津老人憩の家 グループホームさざなみ 岐宿デイサービスセンター デイサービスセンター梶島	奈留デイサービスセンター	

※第1期の計画期間は、五島市公共施設等総合管理計画の期間と合わせるため、9年間としています。

No.	施設名	方向性	H30	R1 (H31)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
2	養護老人ホーム松寿園	譲渡	譲渡								
			説明	第3次五島市行政改革大綱に基づき、平成30年4月に社会福祉法人さゆり会へ民間移譲を行いました。							

※第2期以降に施設名がある施設は、第2期以降の個別計画の策定までにその方向性を検討します。

◆分類用語の定義◆

- ① 現状維持 … 計画的に予防保全することで長寿命化を図り、適切な時期に維持更新を行う施設
- ② 適正化 … 将来、需要の増加又は減少が見込まれることから更新時に規模の拡大又は縮小を行う施設
- ③ 複合化 … 別々の用途の施設を一つの建築物内に集める複合化を行う施設
- ④ 集約化 … 同一用途の施設を一つの建築物内に集める集約化を行う施設
- ⑤ 民活化 … 民間事業者等資金やノウハウを活用し、施設の建替費用の圧縮や公共施設サービスの質の向上を図る施設
- ⑥ 廃止 … 用途廃止等により遊休資産となっている施設のうち、老朽化が著しく大規模改修を要するため解体する施設
他の施設との集約化や民間施設の活用により必要性が失われ、解体する施設
- ⑦ 譲渡 … 遊休資産となっている施設のうち、比較的新しく安全性に問題がないため売却又は譲渡をする施設
地域や民間事業者が独自に運営を行っているものや民間で運営可能と見込まれるため、売却又は譲渡をする施設

(2) その他高齢者福祉施設（娯楽施設）

① 対象施設一覧

No.	施設名	地区	運営形態	建築年度	経過年数	耐用年数	延床面積 (㎡)	収入 (千円)	支出 (千円)
1	福江陶芸館	福江	指定	H8	23	31	220	96	3,873
2	中岳南部屋内ゲートボール場	岐宿	直営	H16	15	25	432	0	11
3	二本楠地区ゲートボール場トイレ	岐宿	直営	H20	11	31	12	0	18
合計							664	96	3,902

※1 運営形態の「指定」は指定管理者を、「直営」は市直営管理を表します。

※2 耐用年数については、財務省令「減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和43年3月31日大蔵省令第15号）を参考に記載したもので、使用可能期間を示すものではありません。

※3 収入及び収支は、平成28年度の歳入歳出決算額を記載しています。

② 各種分析結果

ア 築年数別状況

その他高齢者福祉施設（娯楽施設）は、最も古い福江陶芸館が築後20年以上を経過しているものの、その他の施設については築後10年～14年であり、比較的新しい施設の区分となっています。

イ 利用状況

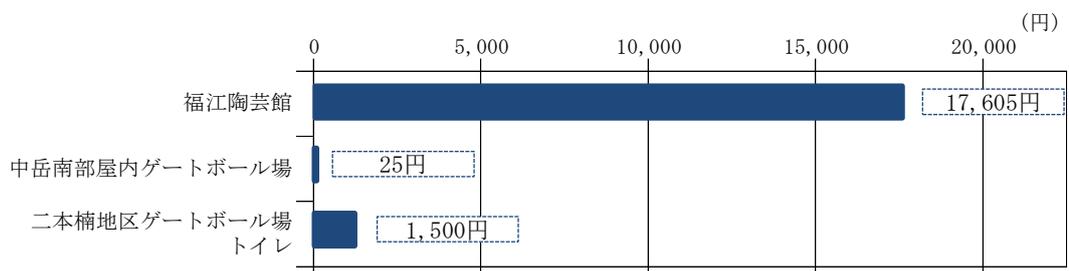
その他高齢者福祉施設（娯楽施設）の延べ利用者数を示したものです。なお、利用期間は平成28年4月から平成29年3月までの1年間です。

No.	施設名	利用者数 (人)	No.	施設名	利用者数 (人)
1	福江陶芸館	2,691	3	二本楠地区ゲートボール場トイレ	3,000
2	中岳南部屋内ゲートボール場	3,000			

※ 「中岳南部屋内ゲートボール場」、「中岳南部屋内ゲートボール場」は、施設の利用者数の統計を取っていないため、推計値で記載しています。

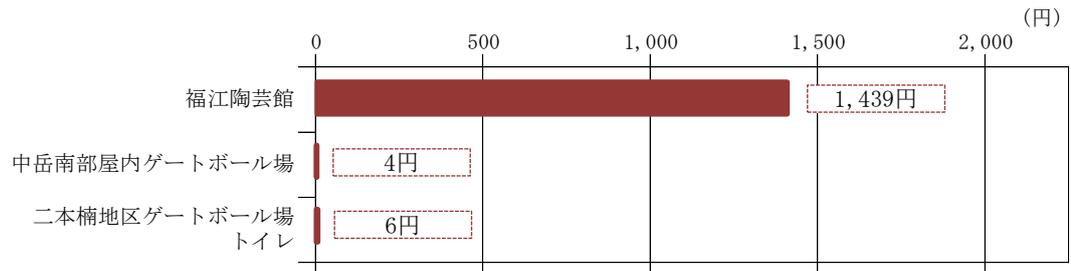
ウ 1㎡当たりの運営コスト状況

管理運営経費と総延床面積から1㎡当たりのコストを比較したものです。



エ 利用者1人当たりの運営コスト状況

管理運営経費と利用者数から1人当たりのコストを比較したものです。



オ 施設の配置状況

対象施設の配置状況を示しています。



No.	施設名	No.	施設名
①	福江陶芸館	③	二本楠地区ゲートボール場トイレ
②	中岳南部屋内ゲートボール場		

③ 施設について

ア 施設の役割

福江陶芸館は、陶芸の創作活動を通して高齢者の生きがいをづくりに資するとともに、福祉の増進を図るために設置された施設です。

中嶽南部屋内ゲートボール場は、地域住民の健康保持及び余暇活動の充実を図ることを目的に、平成16年7月に個人から寄付された施設で、隣接する二本楠地区ゲートボール場トイレと併せて利用されています。

イ 現状と課題

福江陶芸館は、平成29年度をもって指定管理者制度による運営を終了し、利用者団体へ貸付けを行っています。

中嶽南部屋内ゲートボール場は、地元老人会が利用しており、高齢者の健康増進及びレクリエーションの場となっています。

ウ 今後の施設の考え方

福江陶芸館は、耐用年数を迎える令和9年度に譲渡することとしています。

また、中嶽南部屋内ゲートボール場は、寄附採納から30年を迎えるため、隣接する二本楠地区ゲートボール場トイレと併せて令和16年度を目途に譲渡することとしています。

いずれの施設においても、使用している方は特定の者に限られることから、当該使用者へ譲渡することを基本に考えています。

④ 適正配置の検討結果

現状や課題、今後の施設の考え方を踏まえ、すべての施設の適正配置の時期を第1期から第4期までに区分します。

また、第1期の対象施設については「現状維持」「適正化」「複合化」「集約化」「民活化」「廃止」「譲渡」といった方向性を検討し、より具体的な適正配置の実施時期、方法を検討します。

第1期 (H30～R8)	第2期 (R9～R18)	第3期 (R19～R28)	第4期 (R29～R38)
	福江陶芸館 中嶽南部屋内ゲートボール場 二本楠地区ゲートボール場トイレ		

※第1期の計画期間は、五島市公共施設等総合管理計画の期間と合わせるため、9年間としています。

※第2期以降に施設名がある施設は、第2期以降の個別計画の策定までにその方向性を検討します。

(3) 福祉保健施設

① 対象施設一覧

No.	施設名	地区	運営形態	建築年度	経過年数	耐用年数	延床面積 (㎡)	収入 (千円)	支出 (千円)
1	嶽生活館	三井楽	指定	S55	39	47	136	0	0
2	浜窄生活館	三井楽	指定	S57	37	47	132	0	0
3	高崎生活館	三井楽	指定	S59	35	47	132	0	0
4	富江地域福祉センター	富江	指定	H5	26	39	1,708	0	1,604
5	岐宿福祉センター	岐宿	指定	H6	25	39	872	0	10,146
6	奈留保健センター	奈留	直営	H7	24	50	709	74	929
7	福江総合福祉保健センター	福江	直営	H11	20	50	4,713	9,796	28,826
8	奈留高齢者生活福祉センター (やすらぎ荘)	奈留	指定	H13	18	47	785	0	9,338
9	岐宿生活支援ハウス (ふれあいの里)	岐宿	指定	H15	16	47	793	0	6,752
10	三井楽生活支援ハウス白砂	三井楽	指定	H17	14	47	994	0	6,724
合計							10,974	9,870	64,319

※1 運営形態の「指定」は指定管理者を、「直営」は市直営管理を表します。

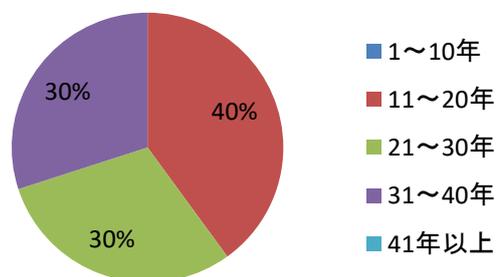
※2 耐用年数については、財務省令「減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和43年3月31日大蔵省令第15号）を参考に記載したもので、使用可能期間を示すものではありません。

※3 収入及び収支は、平成28年度の歳入歳出決算額を記載しています。

② 各種分析結果

ア 築年数別状況

福祉保健施設の全10施設を築年数別で見ると、建築後11～20年の建物が4件で最も多く、21～30年が経過した建物と31～40年が経過した建物がそれぞれ3件ずつとなっています。全体的に耐用年数の半分以上を経過しており、多くの施設が近い将来、長寿命化のための改修工事が必要になると思われます。



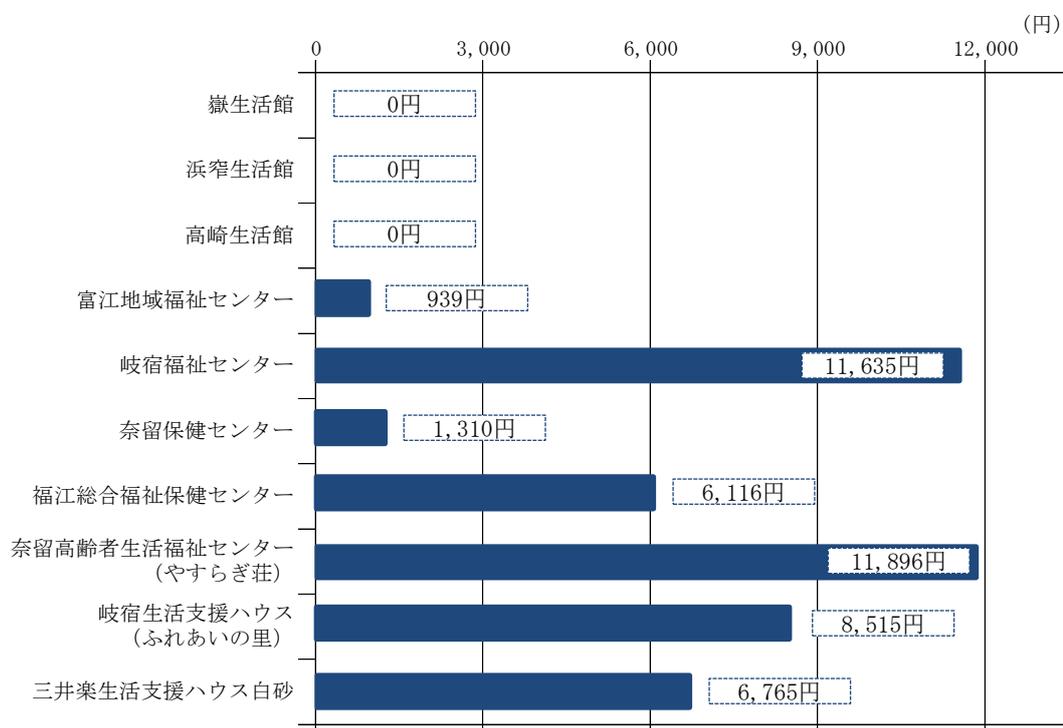
イ 利用状況

福祉保健施設の延べ利用者数を示したものです。なお、利用期間は平成28年4月から平成29年3月までの1年間です。

No.	施設名	利用者数 (人)	No.	施設名	利用者数 (人)
1	嶽生活館	582	6	奈留保健センター	997
2	浜窄生活館	471	7	福江総合福祉保健センター	72,062
3	高崎生活館	33	8	奈留高齢者生活福祉センター (やすらぎ荘)	3,551
4	富江地域福祉センター	11,689	9	岐宿生活支援ハウス (ふれあいの里)	3,921
5	岐宿福祉センター	5,551	10	三井楽生活支援ハウス白砂	2,549

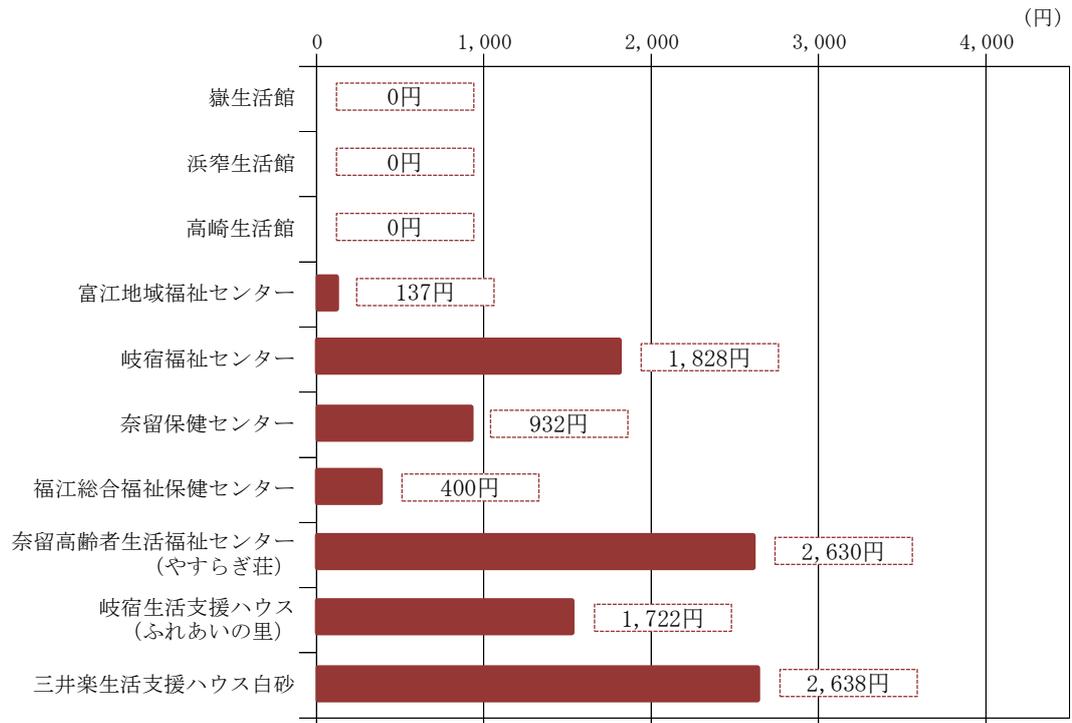
ウ 1㎡当たりの運営コスト状況

管理運営経費と総延床面積から1㎡当たりのコストを比較したものです。



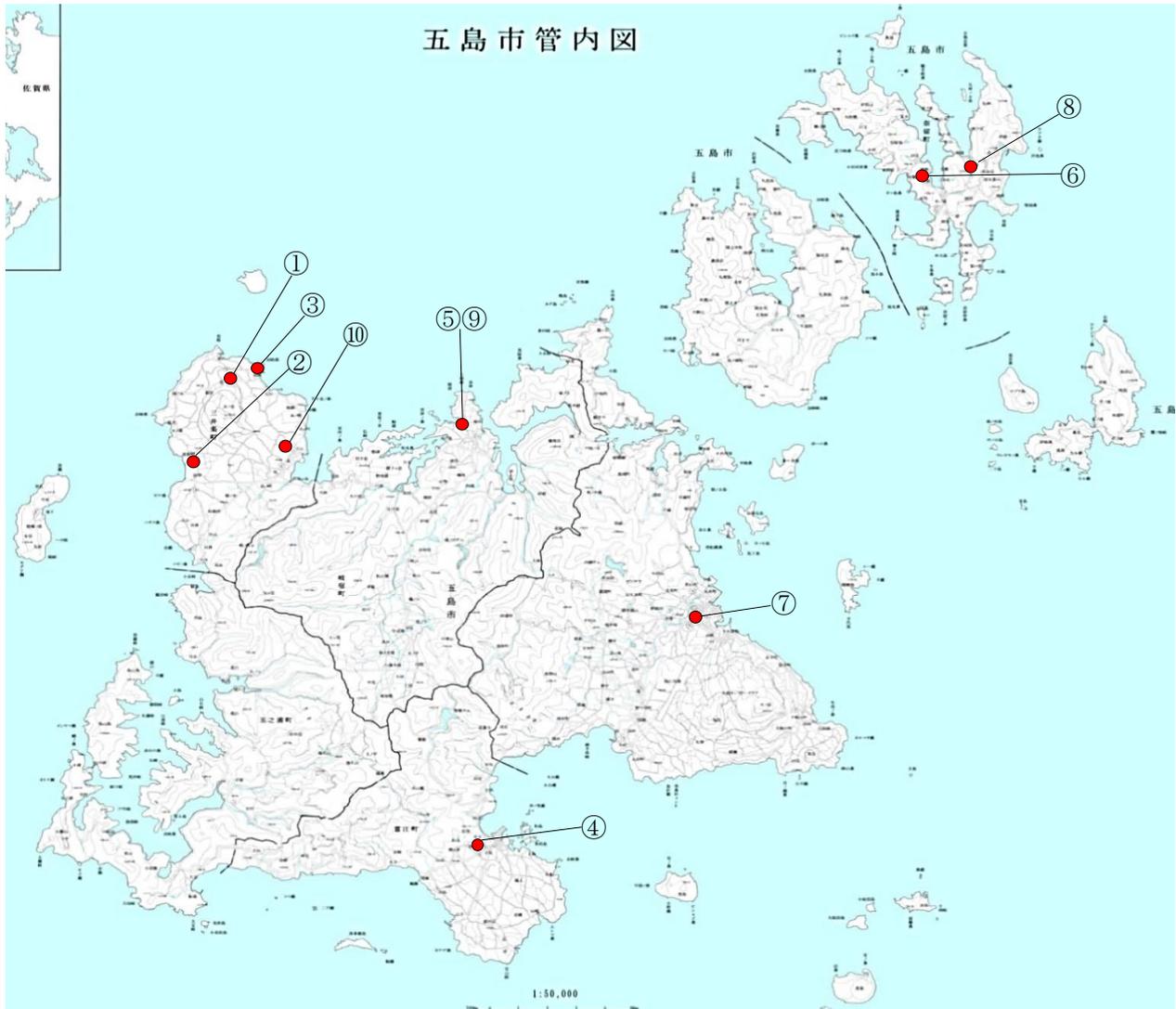
エ 利用者1人当たりの運営コスト状況

管理運営経費と利用者数から1人当たりのコストを比較したものです。



オ 施設の配置状況

対象施設の配置状況を示しています。



No.	施設名	No.	施設名
①	嶽生活館	⑥	奈留保健センター
②	浜窄生活館	⑦	福江総合福祉保健センター
③	高崎生活館	⑧	奈留高齢者生活福祉センター（やすらぎ荘）
④	富江地域福祉センター	⑨	岐宿生活支援ハウス（ふれあいの里）
⑤	岐宿福祉センター	⑩	三井楽生活支援ハウス白砂

③ 施設について

ア 施設の役割

富江総合福祉保健センターをはじめとする福祉保健施設は、高齢者、障害者及び児童等に対する各種の福祉サービスの提供並びに市民の健康保持と保健意識の向上等を図るために設置された施設です。

また、奈留高齢者生活福祉センター（やすらぎ荘）をはじめとする生活支援ハウスは、居住機能、介護支援機能及び交流機能を総合的に提供する事により高齢者が安心して健康で明るい生活を送れるよう支援し、高齢者の福祉の増進を図るために設置された施設です。

イ 現状と課題

富江総合福祉保健センターは、乳幼児健診や特定健診といった市が実施する健康づくりの事業に使用されるほか、4階には200人が収容できる大型のホールも備えていることから各種イベントでも活用されており、年間7万人以上が利用する施設です。しかしながら、建設から約20年が経過していることから、経年劣化による施設や設備の不具合が発生する割合が多くなってきており、大規模な改修工事を検討する時期にきています。

また、この他の福祉保健施設も施設設備の老朽化が顕著に見られるようになっており、施設の長寿命化のための修繕、改修が今後必要となってきます。

ウ 今後の施設の考え方

富江地域福祉センターは、民間の活力と創意工夫を活かした施設運営を図る目的で、令和4年4月に民間へ譲渡することを目指して協議を始めています。

また、岐宿福祉センターは、利用者が減少していること、また温泉に係る機械設備の更新に多額の経費を要することから、平成30年度をもって廃止しています。

その他の福祉保健施設については、耐用年数を迎える更新時期に建物の適正化や集約化を実施します。

④ 適正配置の検討結果

現状や課題、今後の施設の考え方を踏まえ、すべての施設の適正配置の時期を第1期から第4期までに区分します。

また、第1期の対象施設については「現状維持」「適正化」「複合化」「集約化」「民活化」「廃止」「譲渡」といった方向性を検討し、より具体的な適正配置の実施時期、方法を検討します。

第1期 (H30～R8)	第2期 (R9～R18)	第3期 (R19～R28)	第4期 (R29～R38)
富江地域福祉センター	嶽生活館 浜窄生活館 高崎生活館 岐宿福祉センター 三井楽生活支援ハウス白砂	奈留保健センター	奈留高齢者生活福祉センター（やすらぎ荘） 岐宿生活支援ハウス（ふれあいの里）

※第1期の計画期間は、五島市公共施設等総合管理計画の期間と合わせるため、9年間としています。

No.	施設名	方向性	H30	R1 (H31)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
1	富江地域福祉センター	譲渡					譲渡				
		説明	国の交付金を受けて屋外防水工事を行っているため、交付金の返還が生じない令和4年度を目途に譲渡を行います。								

※1 第2期以降に施設名がある施設は、第2期以降の個別計画の策定までにその方向性を検討します。

※2 「福江総合福祉保健センター」は、第4期以降（令和40年度頃を目途）に実施する予定です。

◆分類用語の定義◆

- ① 現状維持 … 計画的に予防保全することで長寿命化を図り、適切な時期に維持更新を行う施設
- ② 適正化 … 将来、需要の増加又は減少が見込まれることから更新時に規模の拡大又は縮小を行う施設
- ③ 複合化 … 別々の用途の施設を一つの建築物内に集める複合化を行う施設
- ④ 集約化 … 同一用途の施設を一つの建築物内に集める集約化を行う施設
- ⑤ 民活化 … 民間事業者等資金やノウハウを活用し、施設の建替費用の圧縮や公共施設サービスの質の向上を図る施設
- ⑥ 廃止 … 用途廃止等により遊休資産となっている施設のうち、老朽化が著しく大規模改修を要するため解体する施設
他の施設との集約化や民間施設の活用により必要性が失われ、解体する施設
- ⑦ 譲渡 … 遊休資産となっている施設のうち、比較的新しく安全性に問題がないため売却又は譲渡をする施設
地域や民間事業者が独自に運営を行っているものや民間で運営可能と見込まれるため、売却又は譲渡をする施設